

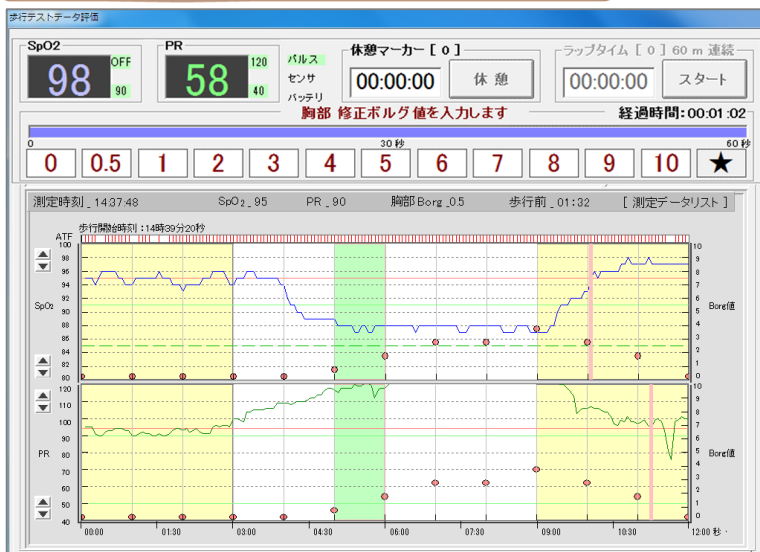
時間内歩行試験ソフトウェア

Bluetooth 搭載型パルスオキシメータからリアルタイムデータを受信し歩行テスト中の患者リスク管理に対応、テスト終了時に報告書を自動作成します。

本ソフトウェアは 1985 年、アメリカ胸部学会（American Thoracic Society）の声明で世界的にコンセンサスが得られている 6MWT の基本をベースに、独自のアルゴリズム解析によりパルスオキシメータで測定されたデータからトレンドグラフ、データ管理、報告書作成等の作業を効率的に自動化する専用ツールです。

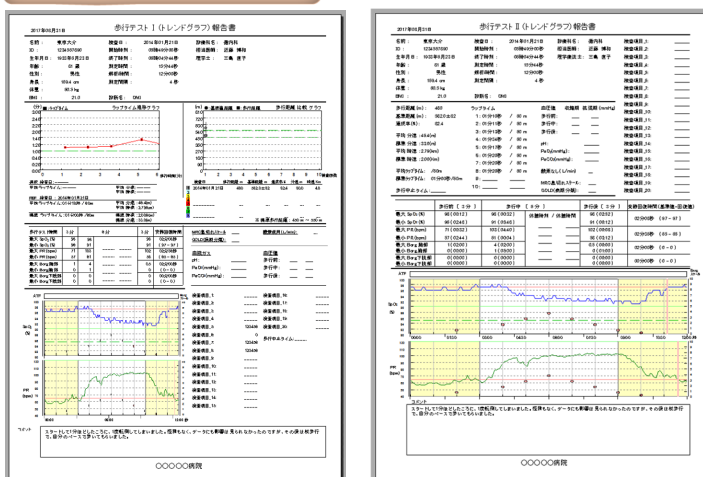
- ◆ リアルタイム受信による患者リスク管理に対応
- ◆ 豊富なパラメータによる歩行グラフデータの記録
- ◆ 歩行中の休憩値、ボルグ値、ラップタイム入力
- ◆ 歩行終了後の SpO₂・脈拍値の安定回復時間取得
- ◆ 歩行テスト終了後の各種レポートの自動作成

Bluetooth 通信によるリアルタイム受信



- ◆ 歩行テストグラフ、休憩範囲、ボルグ値の表示

各項目別 報告書



- ◆ ラップタイム、歩行距離及び分速と時速比較

Bluetooth 搭載パルスオキシメーター



- ◆ Nonin WristOx2®, Model 3150
発売元 スタープロダクト株式会社

Bluetooth シリアル変換アダプター

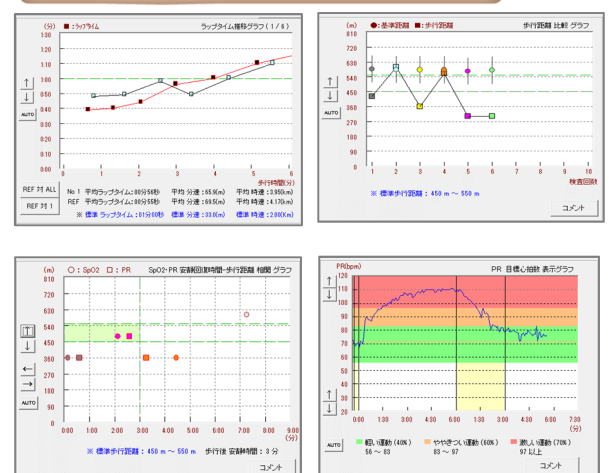
測定データ受信アダプター
インターフェイス規格

- ◆ Bluetooth 2.0+EDR Clas1 (100m)

パソコン仕様

- ◆ デスクトップ、ノート、タブレット
- ◆ Windows 7、8、10 (32/64 Bit)

歩行距離、ラップタイムグラフ



- ◆ 最新データと過去の複数データ比較

Bluetooth 通信によるリアルタイムデータ受信

従来のメモリ格納型パルスオキシメータでは専用ケーブルによりデータのダウンロードを行い、歩行テストの終了後にそのトレンドを知ることになりますが、歩行テスト中に SpO₂、脈拍値の上下限値を外れた危険な状態であっても、そのデータを瞬時に知る手段はなく、患者へのリスク管理が必ずしも適正に行われていない事実が少なくありません。Bluetooth 通信による送信データは 1 秒毎に PC ソフト上で測定値をチェックし、表示及び警告音により患者状態をリアルタイムで知らせ、患者に対するリスク管理を可能にします

設定パラメータ項目

システムの動作及び歩行テストグラフ作成に関係する全てのパラメータ設定を行います。

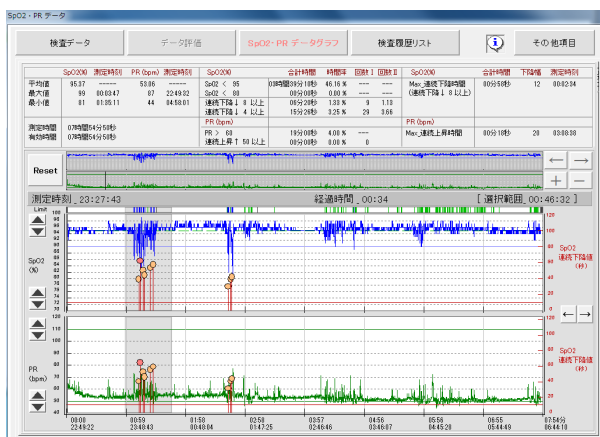
設定パラメータ項目

- 【SpO₂・PR 測定値】
- 【安静・歩行 時間】
- 【安静時基準値】
- 【ラップタイム】
- 【基準歩行距離計算式】
- 【アラーム音・音量設定】
- 【上下限値・表示 ON/OFF】
- 【選択文字列】
- 【報告書・施設名】
- 【フリー検査項目名】
- 【画面サイズ】
- 【修正ボグスケール】
- 【歩行テストデータ取込】
- 【Bluetooth 通信】
- 【レビュー・印刷】

◆ 測定パラメータ画面

SpO₂・PR データグラフと低酸素指標データ

パルスオキシメータに内蔵する長時間測定データを PC にダウンロードし、SpO₂ データ連続下降等の動向を拡大、縮小等の機能により 睡眠時無呼吸症候群のプリチェック及び表示項目である低酸素指標データの詳細表示とレポートを提供します。



◆ 全スパンデータを表示



◆ 選択範囲を拡大表示

表示項目

- 【測定及び有効時間】
- 【選択範囲の平均、最大最小値】
- 【SpO₂ < 80 合計時間、時間率】
- 【SpO₂ 連続下降 8 以上 合計時間、時間率、回数Ⅰ、回数Ⅱ】
- 【SpO₂ 連続下降 4 以上 合計時間、時間率、回数Ⅰ、回数Ⅱ】
- 【SpO₂ Max 連続下降時間 合計時間、下降幅、測定時刻】
- 【PR > 60 合計時間、時間率】
- 【PR Max 連続上昇時間 合計時間、上昇幅、測定時刻】